

令和7年度 事業報告

I 庶務に関する事業

1 総務の概要

1) 会員

(1) 会員数	令和8年3月31日	44 団体
(2) 会費徴収員数	令和8年3月31日	3,368 名
(3) 賛助会員	令和8年3月31日	団体会員 21 団体 個人会員 32 名

2) 役員

(理事 14名、監事 3名)

理 事	高橋芳幸、浦山良雄、館野浩一、志村宏夫、森 一司、石田利雄、森脇秀俊、笠井浩司、東 孔明、野田敏朗、迫田 潔、強谷雅彦、安森隆則、濱野晴三
監 事	新関源衛、山本英治、西出 宏

(松尾隆雄理事 令和8年3月25日逝去により退任)

3) 役職員

区 分	常務理事	技術職員	事務職員	計
人 数	1	1	2	4

4) 会議

区 分	開 催 期 日	主 な 議 題
第1回 定例理事会	令和7年6月13日 家畜改良事業団会議室	1 令和6年度事業報告、貸借対照表及び正味財産増減計算書等に関する件 2 令和7年度事業計画及び予算に関する件 3 理事及び監事の選任に関する件 4 第14回定時総会に報告する事項に関する件 5 その他
第13回 定時総会	令和7年6月25日 AP 東京八重洲 W ルーム	1 令和6年度貸借対照表及び正味財産増減計算書等に関する件 2 令和7年度会費の額及び徴収方法に関する件 3 理事及び監事の選任に関する件 4 その他
第2回 定例理事会	令和8年3月17日 家畜改良事業団会議室	1 令和8年度事業計画及び収支予算に関する件 2 第15回定時総会の開催及び付議事項に関する件 3 令和8年度会費の額並びに徴収方法に関する件 4 賛助会員の入会について 5 その他

5) 監事監査

令和7年5月28日(水)、日本家畜人工授精師協会事務所において、令和6年度事業報告および決算事項について監査を受けた。

II 事業の概要

1 実施事業

1) 家畜人工授精・繁殖技術発表全国大会の実施

家畜人工授精および受精卵移植に携わる家畜人工授精技術者は、刻々と変化する経済状況を背景に受胎率向上や繁殖効率改善に日々取り組んでおり、それらから派生する事例等の貴重な情報を保有している。

一方、関連学会や研究会は学術的な解析等の発表が主体となり、現場で生じている知見に関する意見交換を行える場合は、本協会が主催する全国大会のみになっているが、来場者数がコロナ禍以降伸び悩みの状態にある。

これまで累積した来場者へのアンケート調査も参考とし、理事会の協議を経て、令和7年度から「家畜人工授精・繁殖技術発表全国大会（旧家畜人工授精優良技術発表全国大会）」と大会名称を変更し、日常の業務を通して得られた実践的な内容等をより広く全国の家畜人工授精技術者に伝達し、家畜繁殖技術の向上と普及定着を図るため、令和8年2月12日(木)に東京都千代田区大手町の日経ホールで開催した。

新たな取り組みとして、日本学校農業クラブ全国大会で発表され優秀賞を獲得した農業高校の生徒を招聘し、発表会を通して現職の技術者の活動を体得させ、また交流を以て将来の会員へ結び付ける。また、全国共進会で最優秀賞等を受賞した牛の繁殖を手掛けた技術者を大会に招待し特別表彰を行った。また、地位向上に結び付ける発表演題8題の中から選考委員による選考の結果、一般社団法人北海道家畜人工授精師協会の森口巧氏の「乳牛の受胎率向上に向けた黄体・周囲血流量の分析と現場応用の可能性」と、西井亮太氏の「出血を起点としたOvsynch処置の再検証と開始時期変更による受胎率の検討」が西川賞を受賞した。

また、北里大学獣医学部動物資源科学科の鍋西 久准教授による「近年の暑熱環境は乳・肉用牛の繁殖性にどう影響しているか」とした特別講演を開催した。

令和2年度から着手した録画放映の継続を要望する構成会員が多く、広く情報の提供と共有を促すために、大会終了後に録画配信も行った。配信画像は、大会会場での発表を撮影し、編集作業を経て、令和8年3月31日～9月30日を視聴期間とする。

2) 講習会・機関誌発行等事業

以下の7つの事業を実施した。

(1) 家畜改良・繁殖技術に関する講習会の開催

令和6年度より、「家畜改良講習会」ならびに「家畜繁殖技術講習会」の開催を「家畜改良・繁殖技術講習会」と改め、新たな知見やより専門的で高度な知識の獲得を促すために講師招聘範囲の制約を外し、全国の専門家を講師として招聘できることとした。

月 日	道府県	内容 (テーマ)	実施場所	参加人数	講 師

8月28日	北海道	生殖器解剖・繁殖生理及び授精適期の判定	北海道畜産公社上川工場・北海道NOSAI上川中央家畜診療所	6	北海道大学獣医学部 柳川洋二郎准教授・谷田孝志助教
9月2日	香川県	周産期管理の重要性	香川県農業協同組合中讃営農センター	20	岡山理科大獣医学部 後藤聡准教授
10月27日	秋田県	生産獣医療と畜産	秋田県畜産会館	20	秋田県農業共済組合中央部家畜診療所 所長 今野 誠
11月26日	新潟県	暑熱対策で乳生産維持および繁殖成績向上等について	デンカビッグスワンスタジアム会議室	23	全国酪農業協同組合連合会大阪支所 技術顧問 永井秀樹
12月11日	岩手県	家畜人工授精師のスキルアップ研修	小岩井農牧株式会社 小岩井農場	19	全農岩手県本部 大津信一
12月23日	山口県	講義：人工授精 実習：精液の取扱い等	山口県農林総合技術センター畜産技術部	9	山口県農林総合技術センター 中谷幸穂 他
2月26日	大分県	和牛チップDNA情報を活用した新しい形質のモニタリングについて	亀の井ホテル別府	103	全国和牛登録協会 DNAデータベース課 課長 中山健一郎

(2) 機関誌の発行

家畜繁殖に係る諸技術を主題として取り上げ、生産農家の身近な相談相手である技術者の知識の拡充を目的に、技術者からの執筆等により構成を行う他、新たな技術情報の紹介や学術的な情報の提供を幅広く編纂した機関誌「家畜人工授精」を年4回発行した。

令和7年度発行

(通巻)	特 集	報 告	その他
7月号(326)	受胎率調査結果 令和4年次(確定) 令和5年次(速報)	DRC Report 家畜改良増殖目標	投稿論文
10月号(327)	衛生的な人工授精手技		投稿論文
1月号(328)	第54回大会要旨	法令アンケート集計	
4月号(329)	第54回大会発表要旨	超音波アンケート集計	

(3) 家畜人工授精技術者等の表彰

表彰規定に基づき、岡山県家畜人工授精師協会から2名、香川県家畜人工授精師協会から1名の推薦があった家畜人工授精技術功労者の表彰を行った。

(4) 技術の普及定着

家畜人工授精関連技術者の業務遂行に必要な最新情報および各種関係資料の収集、家畜改良・繁殖技術講習会、全国大会等の企画調整ならびに調査業務を推進した。

(5) ブロック会議の開催

令和7年度に実施する各種事業の効果的な運営実施を図るため、事業推進ブロック会議を以下の6カ所で開催した。

なお、欠席県（埼玉県、千葉県、神奈川県、福井県、静岡県、京都府、和歌山県、広島県、高知県）に対しては、会議終了後に会議資料一式を送付した。

ブロック	開催県	開催年月日	開催場所
北海道・東北	日人協*	令和7年7月18日	ホテル福島グリーンパレス
関東・甲信越	新潟県	令和7年7月11日	ANAクラウンプラザホテル新潟
東海・北陸	富山県	令和7年7月9日	ホテルグランテラス富山
近畿	奈良県	令和7年7月24日	奈良県社会福祉総合センター
中国・四国	岡山県	令和7年7月23日	岡山シティホテル桑田町
九州・沖縄	宮崎県	令和7年7月3日	ホテルメリージュ

(6) 家畜人工授精技術者動静調査

家畜人工授精師の実態把握に努める必要があることから、家畜人工授精技術者動静調査を行った。

2 その他事業

1) 家畜人工授精関係資料作成および情報発信事業

(1) 家畜人工授精講習会テキスト等作成

- ア) 家畜人工授精および家畜受精卵移植講習会テキスト用法令集を1,100部作製し、テキストと併せて頒布。
- イ) 家畜人工授精講習会テキスト（家畜人工授精編）1,100部作製。
- ウ) 家畜人工授精講習会テキスト（家畜体内受精卵・家畜体外受精卵移植編）350部作製。
- エ) 家畜人工授精講習会テキスト（家畜体内受精卵・家畜体外受精卵移植編）改訂を進める。

(2) 情報の発信

機関誌、ホームページ等を活用して、次の情報を広く発信した。

- ① 本協会業務に関すること。
- ② 各種研修会・講習会の開催案内。
- ③ 動画ライブラリ。
- ④ 乳用牛への黒毛和種交配状況（F1）調査等に関すること。
- ⑤ 受胎率調査等に関すること。

2) その他の事業

本協会が、とくにその実施が必要と認める次の事業を行った。

(1) 高度牛繁殖技術普及強化事業

(公益財団法人全国競馬・畜産振興会助成事業)

牛繁殖技術向上に向けた超音波検査技術の導入のため、経験に応じた研修会を開催し、初心者への利用拡充と経験者への定常化を図ると共に、若手技術者の技術習得の場を設け、施策に即応できる生産技術の高位安定化を図った。

一方、最新技術の普及に備え繁殖評価値を構築するための試験を委託した。さらに、交配状況と受胎率調査を全国規模で実施し、繁殖技術水準を確認できる情報の提供を継続し、繁殖基盤強化に努めた。

ア) 事業推進委員会開催等事業

令和7年7月30日(水)、AP東京八重洲7階Vルームにおいて、事業推進委員からなる標記委員会を開催し、令和7年度事業の効率的かつ円滑な推進に関する検討等を行った。

指摘事項等があった場合には、事業計画等の変更等を含めて適切に対応することとした。

イ) 基本技術継承研修事業

繁殖技術者の高齢化等に伴い、技術者の世代交代の時期を迎えていると考えられるが、これまで培われた諸技術の継承が十分行われていないことが課題となっている。そこで、繁殖技術の経験豊富な技術者を講師に迎え、新規あるいは中堅技術者等への技術の継承のための全国を6ブロックに分け、研修会を年2カ所で開催した。

開催年度	開催日	ブロック	開催地	講師	参加人数
令和7年度	12月17日	北海道	帯広畜産大学産業動物臨床棟	ET実務者ネットワーク 佐藤太郎 代表	41
	2月7日	東北	岩手大学農学部 ぼらんホール	吉川基一 副代表 小比類巻正幸 役員 山本広憲 事務局長	42

ウ) 超音波検査技術高度化研修事業

① 実態調査

令和4年度に行った調査と同じ内容で、過去に開催した超音波技術研修会に参加した技術者等を含め、アンケート形式での超音波検査技術の利用実態等、技術の浸透度を調査すると共に、実務の中で生じた新たな疑問やさらに習得したい内容等の調査を併せて行い、09月16日にアンケートを800通送付した。360通の回答があった。

② 道府県技術者研修会

開催希望のあった2道県の家畜人工授精師協会に業務を委託し、家畜人工授精師を対象とした超音波検査技術研修会を開催した。

07月11日：北海道開催（北海道立総合研究機構酪農試験場）

11月14日：島根県開催（島根県畜産技術センター）

③ 基本技術研修会

初心者を対象とした超音波技術の研修会開催を独立行政法人家畜改良センター（奥羽牧場、岩手牧場、熊本牧場）との共催により、技術の有効性を体験する位置付けの研修会を開催した。

④ 応用技術研修会

超音波研修会に参加した技術者からアンケート調査に寄せられた質問等を系統立てて整理し、対応可能な講師に講義を依頼した。研修会は家畜改良センターとの共催とし、座学と実技研修を併せて一層の理解度を深めた。

⑤ 経膈採卵技術研修会

獣医師を対象として、経膈採卵技術の研修会を独立行政法人家畜改良センター（本所、鳥取牧場）で年2回開催する。また、採取した卵子の検索等を獣医師ならびに家畜体外受精卵移植師を対象に（申し込み時に免許確認）併せて開催した。

基本技術・応用技術・経膈採卵技術研修会開催実績

開催日		開催場所	講師	参加人数	参加者道県名
R7. 11. 14	基本技術	岩手牧場	平田 統一(岩手大)	10	福島県、茨城県、栃木県、埼玉県、新潟県
R7. 11. 20	基本技術	熊本牧場	西村 亮(鳥取大)	7	山口県、高知県、福岡県、鹿児島県
R7. 12. 4	基本技術	奥羽牧場	永野 昌志(北里大)	10	沖縄県、東京都、岩手県、青森県、
R7. 12. 19	応用技術	宮崎牧場	北原 豪(宮崎大)	10	岐阜県、兵庫県、山口県、宮崎県、鹿児島県
R8. 1. 14	経膈採卵	鳥取牧場	増田 康充(エルセット株式会社)	6	兵庫県、島根県、愛知県、岐阜県、高知県
R8. 1. 22	応用技術	十勝牧場	三浦 亮太郎(酪農学園大)	10	北海道、愛知、岡山、埼玉、宮城
R8. 1. 28	経膈採卵	本所(白河)	増田 康充(エルセット株式会社)	4	福岡県、沖縄県、秋田県、山形県

エ) 評価モデル構築事業

カラーDプラ機能付超音波検査装置は、今後の繁殖技術の精度向上と改良の推進に役立てられることは想像に難くないが、機種毎に画像の描写が異なる状況があるため、スペックの平準化の必要性が課題とされている。そこで、国内で利用が多く一般的に入手しやすい3機種を用い、得られたデータを比較することによりオッズ比等を求め、繁殖評価モデルを構築する事業を独立行政法人家畜改良センターに委託した。

オ) 繁殖技術普及拡大事業（家畜人工授精・繁殖技術発表全国大会）

研修会で習得した技術を利用した成果、繁殖実務で得た事例や問題点等を発表する発表会を開催した。今年度は北里大学獣医学部動物資源科学科の鍋西 久准教授による「近年の暑熱環境は乳・肉用牛の繁殖性にどう影響しているか」とした特別講演を開催した。

さらに、次世代の技術者育成の一助とするため、日本学校農業クラブ全国大会で発表され

優秀賞を獲得した農業高校の生徒を招待し、発表会を通して現職の技術者の活動を体得させた。

また、第16回全日本ホルスタイン共進会で最優秀賞等を受賞した牛の繁殖を手掛けた技術者を大会に招待し特別表彰を行った。これらの情報を広く技術者に提供するため、発表会当日の様子を収録し、発表会終了後に配信した。

カ) 繁殖基盤情報整備事業

(ア) 交配状況調査

繁殖基盤強化につながる乳用牛への黒毛和種精液、性選別精液等の交配状況を調査し、四半期ごとに集計結果をホームページ等で下記表のとおり公表した。

交配調査情報の発信実績

公表時期	公表内容
令和7年 6月30日	令和7度第1期四半期公表 調査 246,750 頭 交雑種交配率 42.0%
令和7年 9月22日	令和7度第2期四半期公表 調査 235,202 頭 交雑種交配率 42.8%
令和7年 12月18日	令和7度第3期四半期公表 調査 221,693 頭 交雑種交配率 46.5%
令和8年 3月23日	令和7度第4期四半期公表 調査 253,804 頭 交雑種交配率 45.4%

(交雑種交配率は全国加重平均)

(イ) 受胎率調査

令和5年次「確定」(R8. 3.31 現在. 延べ頭数受胎率)

・人工授精

乳用牛調査 802,500 頭 受胎率 48.3%

肉用牛調査 332,145 頭 受胎率 53.0%

・胚移植

体内胚調査 68,009 頭 受胎率 48.2%

体外胚調査 26,996 頭 受胎率 39.1%

令和6年次「速報」(R8. 3.31 現在. 延べ頭数受胎率)

・人工授精

乳用牛調査 823,118 頭 受胎率 44.4%

肉用牛調査 162,590 頭 受胎率 57.0%

・胚移植

体内胚調査 46,801 頭 受胎率 47.7%

体外胚調査 23,960 頭 受胎率 43.2%

(3) 肉用牛経営安定対策補完事業 (肉用牛生産基盤強化等対策事業)

和牛遺伝資源流出防止周知徹底対策 (令和7度新規事業)

(独立行政法人農畜産業振興機構補助事業)

我が国固有の財産である和牛遺伝資源（精液および受精卵）の中国への不正輸出未遂事案の発生を受け、令和2年10月1日に「家畜改良増殖法の一部改正」および「不正競争防止法」が制定された。家畜人工授精業務等を行う関係者ならびに和牛遺伝資源を所有する生産者に対し、上述2法の理解を促すための研修会の開催、ならびに小冊子の作成と配布を通じ、和牛遺伝資源の流通管理の重要性を周知すると共に、海外への流出防止を図る。

また、各道府県で開催される家畜人工授精師養成講習会の法令(5時間)の講義も担当できることになった。

令和7年度は、対象を繁殖技術者、和牛繁殖農家、家畜人工授精師養成講習会の3つに分け、下記の講習会を開催し、410名に参加いただいた。

令和7年度開催県、場所および参加人数

道府県名	開催日	開催場所	人数
法令研修会（対象：繁殖技術者）			
和歌山県	R7.9.12	和歌山県畜産試験場	19
法令研修会（対象：和牛繁殖農家）			
福島県	R8.1.16	マーヴェラス末広	100
福島県	R8.3.24	A夢みなみ営農経済本店	50
法令講習会等（対象：家畜人工授精師養成講習会）			
神奈川県	R7.7.15	東京農業大学厚木キャンパス	32
三重県	R7.7.17	三重県畜産研究所	11
沖縄県	R7.8.1	沖縄県立農業大学校	23
茨城県	R7.8.7	鯉淵学園農業栄養専門学校	3
北海道	R7.9.1	北海道大学農学部	14
神奈川県	R7.9.7	麻布大学獣医学部畜産学科（4年生：受精卵移植講習会）	34
福井県	R7.9.11	福井県家畜保健衛生所	11
和歌山県	R7.9.12	和歌山県畜産試験場	8
茨城県	R7.9.18	茨城県畜産センター	34
神奈川県	R7.10.8	麻布大学獣医学部畜産学科（3年生：人工授精講習会）	45
岡山県	R7.11.25	(公財)中四国酪農大学校	34
島根県	R8.1.19	島根県立農業大学校	14

（4）牛繁殖技術情報提供支援事業（令和7年度～9年度）

（地方競馬全国協会・畜産振興事業）

家畜の生産サイクルの起点となる子畜生産にあたっては、家畜人工授精師の活躍が不可欠だが、家畜人工授精師資格取得のためには大学等に所属している間に取得するか、都道府県等が開催する講習会の課程を受講し、修業試験に合格する必要がある。しかし、様々な理由から講習会の開催ができない自治体も多く、家畜人工授精師の確保に課題がある。

また、有資格者が新たに技術習得を行う機会は少なく、限られた時間の中で活用できる知識等の習得や技術向上の取組が必要である。

このため、法に定められた家畜人工授精師等の資格取得に必要な一般科目ならびに専門科目の動画による教材を作成し、都道府県の講習会での活用促進を働きかけ、家畜人工授精師の確保への支援を行う。

加えて、牛の人工授精技術者が必要となる新たな繁殖や育種、飼養管理等に係る技術につ

いて講習会を開催し、その様子を情報ライブラリ化することで、業務の合間を活用しながら技術習得等を図る取組を支援する。

ア) 事業推進委員ならびに制作委員会の開催（AP 東京）。

令和7年7月30日、AP 東京八重洲7階Vルームにおいて、専門家からなる標記委員会を開催し、本事業の効率的かつ円滑な推進に関する検討等を行った。

指摘事項等があった場合には、事業計画等の変更等を含めて適切に対応することとした。

イ) 先端技術講習会

月 日	道府県	内容（テーマ）	実施場所	参加人数 （うち Web）	講 師
8月27日	福岡県	高受胎率を達成するための繁殖戦略 ～個の技術からチーム作りへ～	(公社)福岡県獣医師会 FOF 研修室	32 (11)	(株)Pivot 代表取締役 太田 智享
8月29日	島根県	牛の状態を読み取って受胎率の向上に活かそう	島根県畜産技術センター	84 (20)	(株)Pivot 代表取締役 太田 智享
12月2日	茨城県	実践的な受精卵移植の活用	水戸京成ホテル	20	山本動物 ET クリニック 医院長 山本広憲
12月2日	山形県	ゲノミック評価を活用した和牛の改良について	HOTEL ビューくらだ (天童市)	30	群馬県畜産試験場 加藤 聡
12月8日	栃木県	超音波画像下での効果的な卵胞吸引と OPU-IVF の現状	栃木県総合文化センター	116	(株)TARO ファームアグリニック 院長 佐藤太郎
		乳牛の画像を活用した分娩難易度推定技術			農業・食品産業技術総合研究機構 青木真理
2月3日	山梨県	乳・肉用牛の繁殖性におよぼす近年の暑熱の影響と効果的な対策	山梨県畜産酪農技術センター 長坂支所	29	北里大学獣医学部 准教授 鍋西 久

ウ) 動画作成

資格講習会で必要となる基礎科目の動画を作成し、資格講習会開催者を支援する。また、新技術等の幅広い知識習得を促すための講習会開催と録画のライブラリ化を図り、人工授精師の資質向上に結び付ける。

令和7年度は「関係法規」「畜産学概論」「畜産の栄養」「畜産の飼養管理」「家畜の育種」を作成済み。

エ) 情報ライブラリ化

現在、資格講習会のための動画は作られていない現状があり、動画教材を以て労力の軽減を図ると共に、効率的な講習会の運営の支援を図る。さらに、新技術等の幅広い知識習得を促す取り組みにより、人工授精師の資質向上に結び付け、問題の解消につなげることを目的

とするため、新たな知識等を含めた講習会動画をライブラリ化して提供することにより、家畜人工授精師等に新たな知識等を付与する動画作成本数を直接目標とする。年度は5本の動画をホームページに載せた。